

鉈屋町  
町内会だより

3月13日  
資源回収

雪も溶け、寒さも和らいだ3月。今年二回目の資源回収が行われました。



前々からご説明しているように、空缶は集めた時のポリ袋のままでは回収してもらえず、アリスさんの用意した容器に移す

不定期発行  
発行者  
鉈屋町町内会  
編集 / 文責 / 撮影  
桂 汎用工房  
脇田 桂一郎  
印刷  
小松総合印刷  
株式会社

必要があります。これが回収に時間がかかる原因になります。そこで今回は方法を変えてみました。



アリスさんに用意してもらったのは、大きな回収袋。これに空缶をどんどん入れていきます。ポリ袋から缶を出す手間は変わらないのですが、ケースに移すときのように、残量を気にすることなく放り込めるので効率は上がります。

大きな袋に流し込んでいくと、次第に膨らんでいつて、



最後はこんな状態に。



毎回大活躍の軽トラですが、これらの車両も耐用年数などで、後継車問題がでていたりとか。





見つけ出したものを集めました。さらに昨年度に行われた「歴史的街並み保存活用地区における暮らしやすさの実態調査」のアンケート結果などの資料も反映されているとのこと。

今回のパンフレットは、これで終わりではなく、大慈寺地区をモデルケースとして、他の町でも同様の取り組みを広げてほしいとのこと。それを行うため、ガイドマップ作成に使えるフレームシート(書式)も用意されています。



このパンフレットとフレームシートは、大慈清水御休み処で配布されています。また、盛岡まち並み塾のホームページからダウンロードすることもできます。

**わたしのまちの「宝物」ガイドマップ**

私たちが暮らす地域には、人々の日々の暮らしの積み重ねによりつくられた歴史があります。地域の歴史の中でつくられてきた自然、地形、産業、建物やまち並み、風景、文化、暮らしや人々などの地域資源は、地域ならではの魅力を表す「宝物」です。たくさん地域の「宝物」で形作られた歴史的なまち並みは、私たちの暮らしや気持ちを映し出し、そして、歴史的なまち並みもまた、私たちの暮らしや気持ちに、当たり前前にある影響を与えます。当たり前ですが、歴史的なまち並みは、私たちの「暮らしを豊かにする」要素をもち、気持ちを前向きに充実させた状態にする「こと」、人間性を育むなどのきっかけを与えてくれます。若手県盛岡市大慈寺地区の歴史的なまち並みから採集した、暮らしを豊かにする地域の「宝物」を紹介します。

**岩手県盛岡市大慈寺地区 歴史的なまち並みの「暮らしを豊かにするモノ」**  
— 歴史・暮らし・わたし・探し —

発行：2022年3月 特定非営利活動法人盛岡まち並み塾  
〒020-0827 岩手県盛岡市鉦屋町3-15「大慈清水御休み処」内 TEL019-656-1603  
<https://www.machinamijuku.org/>  
※このリーフレットは「NPO等による復興支援事業費補助金」の活用により作成しました。

### テラーK&Mの 新店舗

平成28年に開業した「テラーK&M」さんが、3月5日、新しい店舗へ移転オープンしました。

村上政貴さんが営むこの店は、オーダーメイドのスーツとシャツを作るテラー(仕立屋)です。



建物の工事中から、どんな店になるのか気になっていました。素敵な店が増えて、ちよつと嬉しいです。

### 編集後記

チューリップは3月29日で、これぐらいになりました。花まではまだかかりそうです。



4月から、盛岡市消防団第2分団に入団することになりました。以前から2分団とは、建物の件でお付き合いがあったのですが、ついに、といった感じです。

子供の頃から消防車は大好きでしたし、建築にとって火災は「敵」ですので、できる範囲でお手伝いしていきたいと思っております。(桂)



雛飾 2022

髪と道具の美しさに気がきました。